

IVR(画像下治療)センターの 概要と運営

国立がん研究センター中央病院

放射線診断科

曾根美雪

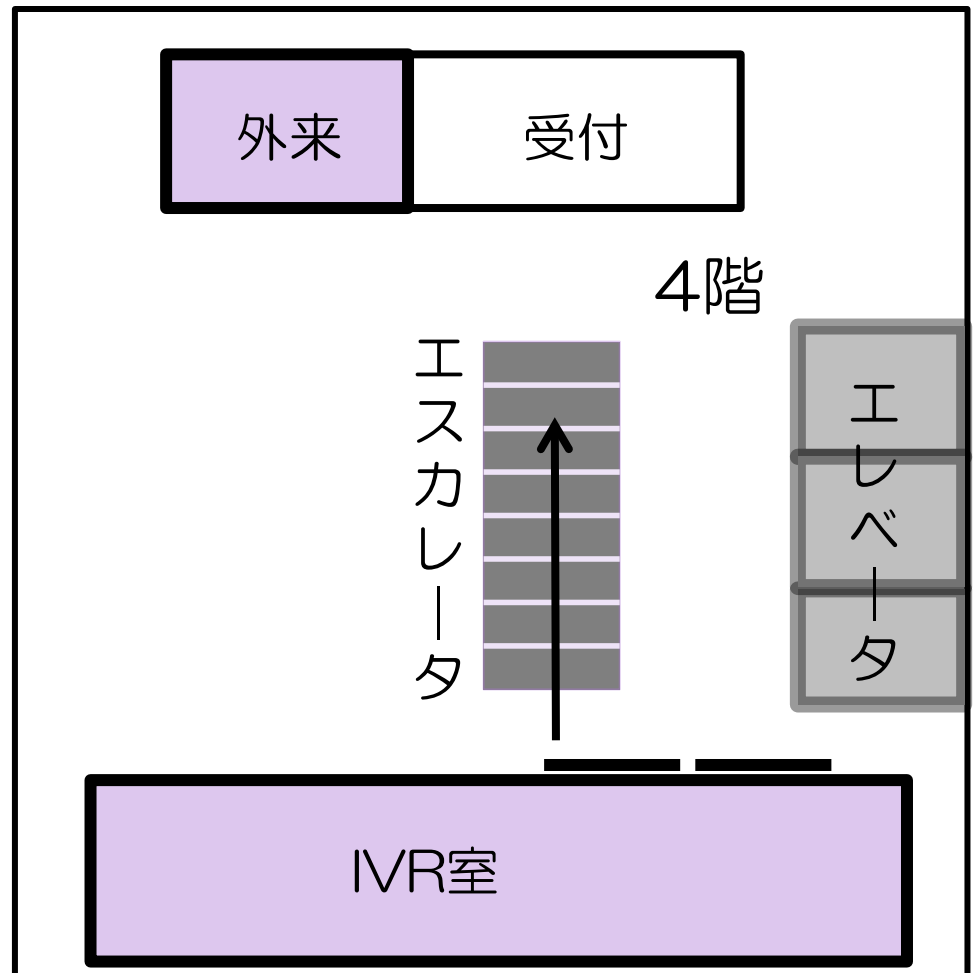
2014年12月10日



IVRセンターの場所

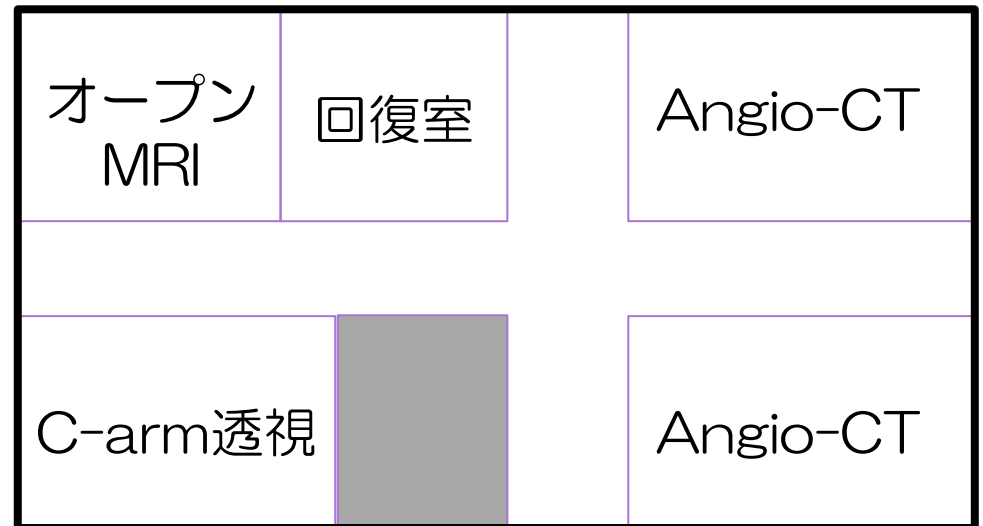


中央病院 病院棟4階
放射線診断科



IVRセンターの機器

Angio-CT装置	2台
C-arm X線透視装置	1台
オープンMRI装置	1台
超音波装置	4台
血管アクセス用 超音波装置	4台
ラジオ波凝固療法 装置	2台
凍結療法装置	2台



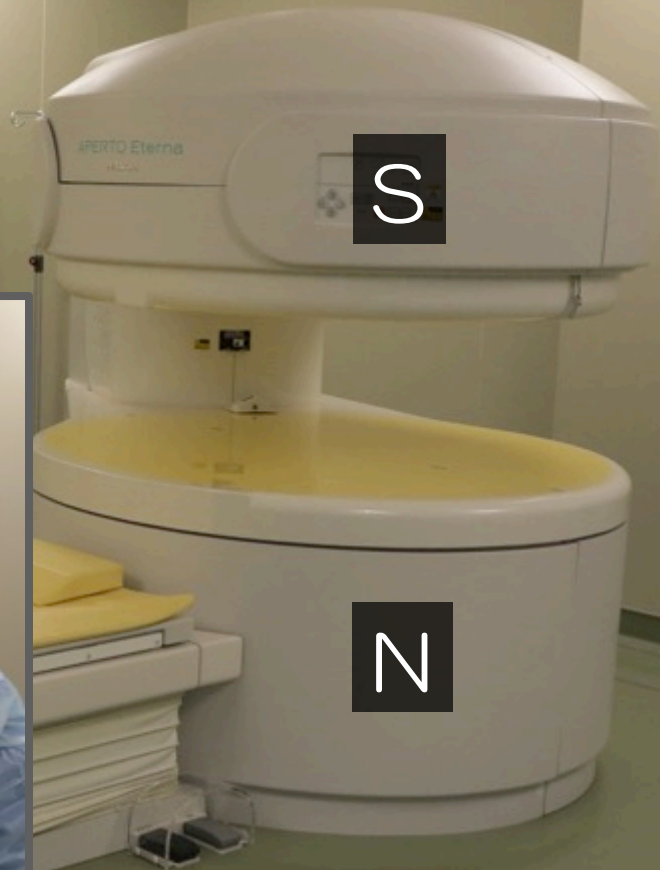
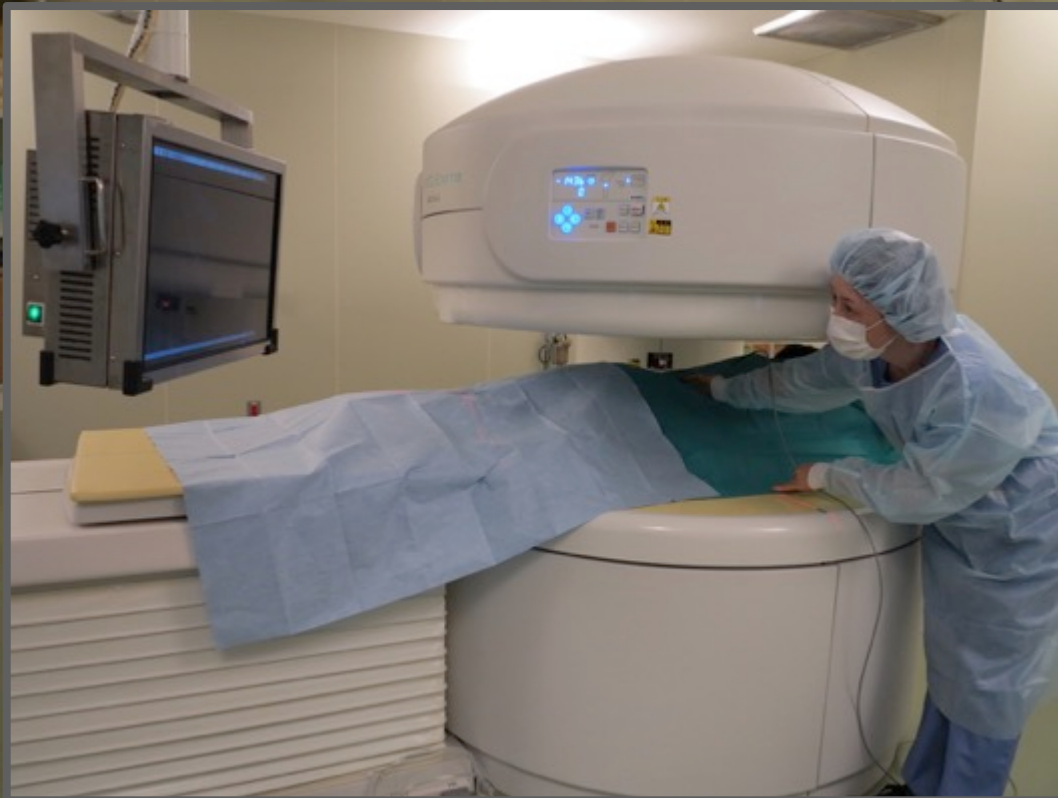
Angio-CT装置

C-arm

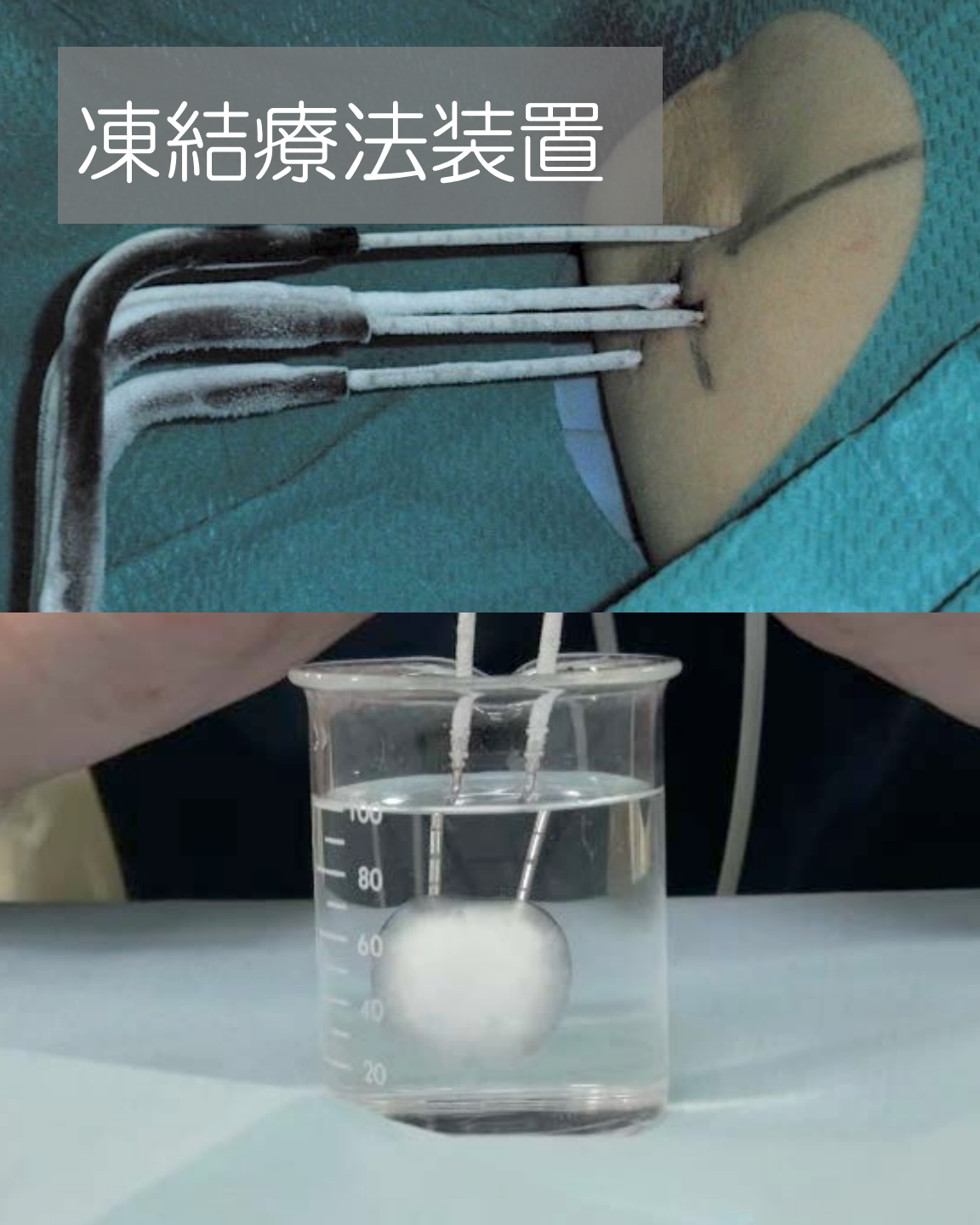
CT

1993年
国内メーカーと
協力して荒井が開発

オープンMRI装置



凍結療法裝置



IVRセンターの人員

医師	7名
(常勤 5、非常勤 2)	
放射線診断専門医	6名
IVR専門医	5名
診療放射線技師	4名
看護師	4名
学会認定INE看護師	院内に4名
(INE:インターベンション・ナース・エキスパート)	

対応可能なIVR

がん自体の治療

動注、動脈塞栓術、ラジオ波凝固療法、凍結治療

症状、処置に伴う苦痛の緩和

難治性腹水に対するシャント術

がんで痛む骨に対する骨セメント(骨形成術)

がんで潰れた血管に対するステント治療

がんで潰れた消化管、胆管に対するステント治療

苦しい鼻からのチューブを首に変更(PTEG)

その他

経皮的針生検

中心静脈ポート

特殊なIVR

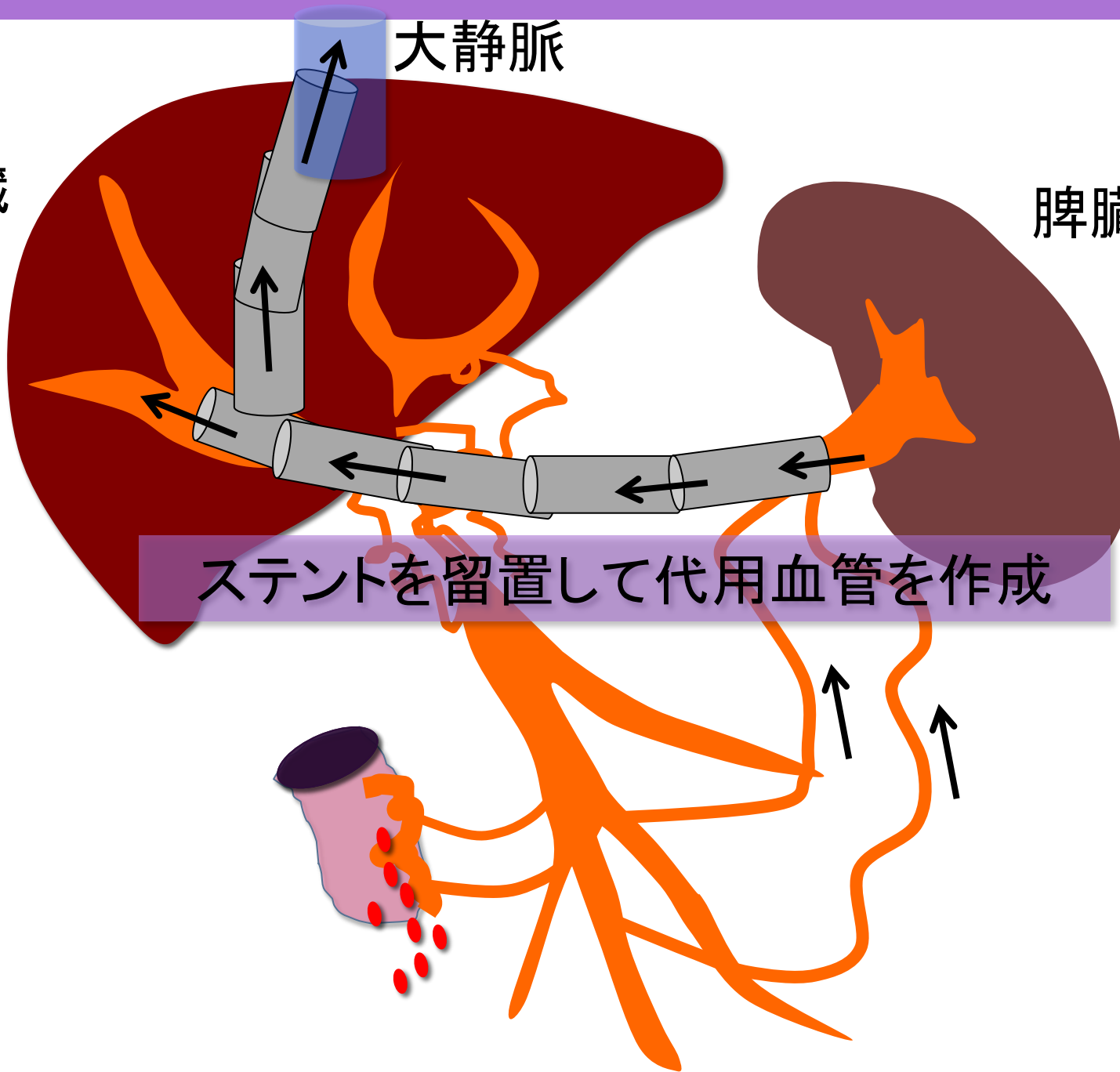
特殊なIVR

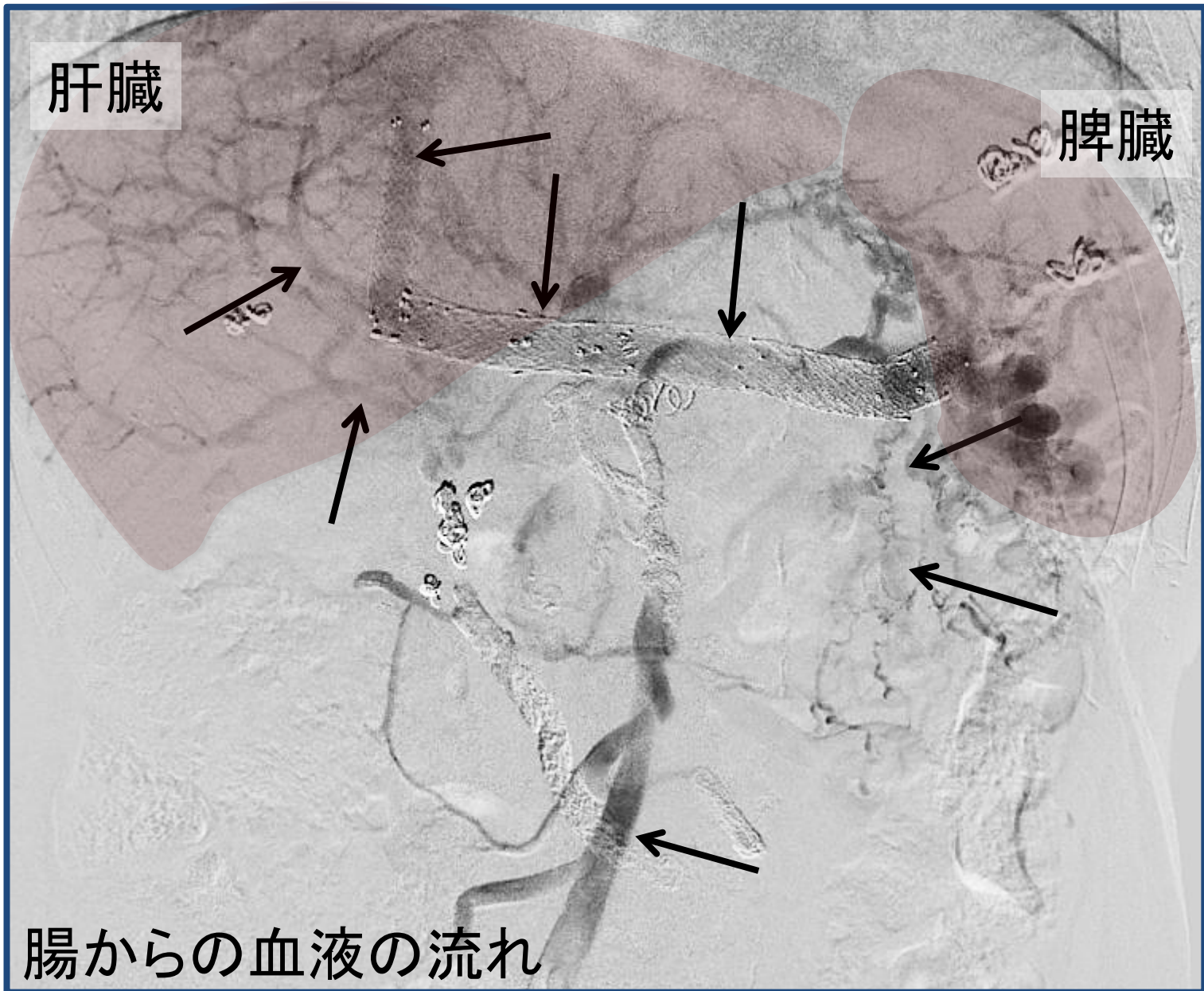
肝臓

大静脈

脾臓

ステントを留置して代用血管を作成





IVRの受付

お気軽にご相談下さい

国立がん研究センター中央病院 放射線診断科
Tel:03-3547-5201 内線 7447(平日8:30~17:30)



抗がん IVR
緩和 IVR

対応可能な IVR

- 腎がんに対する凍結療法、各種がんに対する経動脈治療、肺がんに対するラジオ波焼灼療法など
- 難治性疼痛に対する椎体形成術やブロック、難治性腹水に対するシャント形成術、SVC症候群に対するステント留置術など
- 胆道系ドレーナージ・ステント留置術、消化管過剰狭窄に対するステント治療や PTEG、その他 CV ポート関連など

医療機関からのご相談

電話03-3547-5201

内線7447

(8:30-17:30)

電話、FAX

↓
受診予約

↓
外来受診、入院、IVR

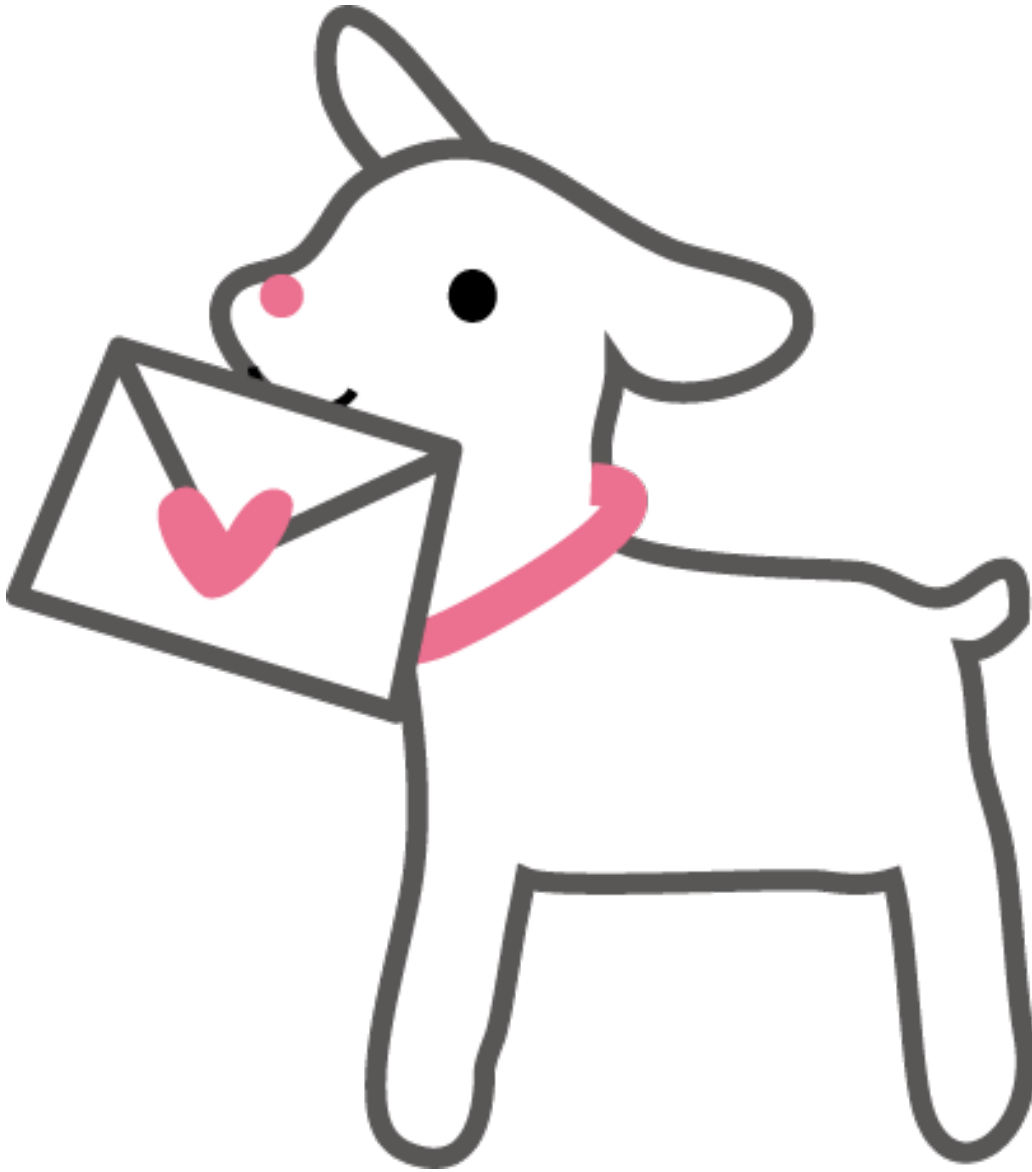
国立がん研究センター中央病院におけるIVR施行について

http://www.ncc.go.jp/jp/ncch/clinic/diagnostic_radiology_p01.html



お気軽にご相談下さい

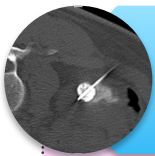
国立がん研究センター中央病院 放射線診断科
Tel:03-3547-5201 内線 7447(平日:8:30~17:30)



抗がん IVR

緩和 IVR

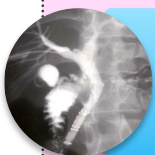
対応
可能な
IVR



腎がんに対する凍結療法、各種がんに対する経動脈治療
肺がんに対するラジオ波焼灼療法など



難治性疼痛に対する椎体形成術やブロック、
難治性腹水に対するシャント形成術、SVC 症候群に対するステント留置術など



胆道系ドレナージ・ステント留置術、
消化管通過障害に対するステント治療や PTEG、その他 CV ポート関連など